

姫路顕栄教会

# エピファニー・タイムス

【住所】〒671-1152 姫路市広畑区小松町4-36

編集責任者 牧師・司祭 ミカエル小南 晃

## 聖霊降臨日

わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

今年の6月第1日曜日6月5日は聖霊降臨日(ペンテコステ)です。降誕日(クリスマス)、復活日(イースター)と並ぶ、教会の三大祝日の一つです。今年の6月はこの大祝日と共に始まります。

### 福音を宣教する教会の誕生

そしてこの日に記念し、祝われていることの一つは、キリストの福音を世界に宣べ伝える「教会の誕生」ということです。

使徒言行録1:8に「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」というイエスのみ言葉が記されています。

そしてその約束は、ユダヤ教において過越祭から五十日目に祝われる五旬祭(ペンテコステ)の日に成就したものでした。そして過越の祭から五十日目とはイエスの復活からも五十日目ということです。

使徒言行録2:1以下にはその出来事が記されていますが、そこには聖霊が降った弟子たちが、突然に世界各国の言葉で神の偉大な業を語り出したという不思議な出来事が記されています。それは弟子たちに力が与えられて世界に福音を宣教する教会が誕生したことを示すものです。

それから二千年が経過しましたが、教会が福音宣教の使命を担っていることは変わりません。私たちにもその力が与えられますように聖霊を祈り求めたいと思います。

一番身近な大切な存在である故に

ところで聖霊という存在について分りにくく思われる方も多いのではないのでしょうか。しかし私たちにとって欠くことの出来ない大切な存在ほど、かえって意識することなく忘れがちで、また感謝もしていないということがしばしばあります。

例えば「空気」について、もし空気がなければ私たちは一瞬たりとも命を保てません。しかし普段そのことを余り意識していないのではないのでしょうか。

また「親の愛」について、親の愛のありがたさや、親孝行の大切さはよく語られます。しかしそれが語られるほどに、本当に意識し、また感謝しているのでしょうか。

その時には気付かず、後になって親の愛を思い起こすということもしばしばあるのではないのでしょうか。

そのように聖霊も余りにも身近な存在である故に意識できないでいることも多いのではと思います。

### 命を与え、愛を注いでおられる存在

聖霊についてニケヤ信経は「聖霊は命の与え主」と呼んでいます。創世記の神話は土の塵で造った人間の鼻に命の息、即ち聖霊を吹き入れることによって人は生きる者となったと記しています。(創世記2:7)

また聖霊は私たちを救うために常に執り成してくださっています。ローマの信徒への手紙8:26に「“霊”自らが、言葉で表せないうめきをもって執り成してくださるからです」とあります。これは深い愛を注いでくださっていることに他なりません。

私たちは深呼吸をする時、普段意識しない空気を感じます。同様に私たちは祈りの内に改めて聖霊を意識することになるでしょう。

この時に改めて命と力と愛を注がれますように聖霊を祈り求めて参りたいと思います。